

内科的集中治療室入院症例の来院時 Low triiodothyronine (T3) syndrome に関する検討

2011年5月から2020年3月までに集中治療室で治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「内科的集中治療室入院症例の来院時 Low triiodothyronine (T3) syndrome に関する検討」という研究を行います。この研究は、2011年5月1日より2020年3月31日までに日本医科大学千葉北総病院集中治療室での治療を要した患者さんの採血項目及び予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：内科的集中治療室入院症例の来院時 Low triiodothyronine (T3) syndrome に関する検討

研究期間：委員会承認日～2022年09月30日

研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 内科・集中治療室 白壁 章宏

(2) 研究の意義、目的について

集中治療室に入院を要する症例の来院時 Low triiodothyronine (T3) syndrome 合併と臨床データ及び長期予後の関係を明らかにすることを目的とします。集中治療室に入院を要する症例の来院時 Low triiodothyronine (T3) syndrome 合併のメカニズムと長期予後の関係が明らかになれば、今後の治療介入解明の一助となる可能性があります

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2011年5月1日より2020年3月31日までに日本医科大学千葉北総病院集中治療室で治療を受けられた患者さんのデータを解析し、来院時 Low triiodothyronine (T3) syndrome と臨床データ及び長期予後についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

年齢、性別、感染源 (肺、腎・尿路、腹部、肝・胆道系など)、既往 (高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症)、バイタルサイン (血圧、脈拍、呼吸回数、体温、BMI)、心エコー所見 (左室駆出率)、血液ガス所見 (pH、PCO₂、PO₂、HCO₃⁻、SaO₂、乳酸値)、血液所見 (白血球値、ヘモグロビン値、尿素窒素値、クレアチニン値、ナトリウム値、カリウム値、血糖、CRP 値、ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白[HFABP]値、高感度トロポニン値、脳性ナトリウム利尿ペプチド[BNP]値)、機械補助治療の有無 (非侵襲性陽圧換気マスク、人工呼吸管理、持続腎代替療法)、1年間の生存もしくは死亡等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 内科・集中治療室 助教 鳴原 祥太

実施代表者：日本医科大学千葉北総病院 内科・集中治療室 講師 白壁 章宏

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：0476-99-1111 (代表) 内線：2070

メールアドレス：s6042@nms.ac.jp